



令和7年度おおまき小学校グランドデザイン

教育目標

えがおいっぱい やるきいっぱい

社会の要請

- ・SOCIETY5.0の到来による、AIやICTの活用。
- ・グローバル化の加速による、人、物、金、病気等の拡散により、問題解決には協力が必要。
- ・コンテンツベースからコンピテンシーベースへ
- ・生涯にわたって能動的に学び続ける必要性

他機関との連携

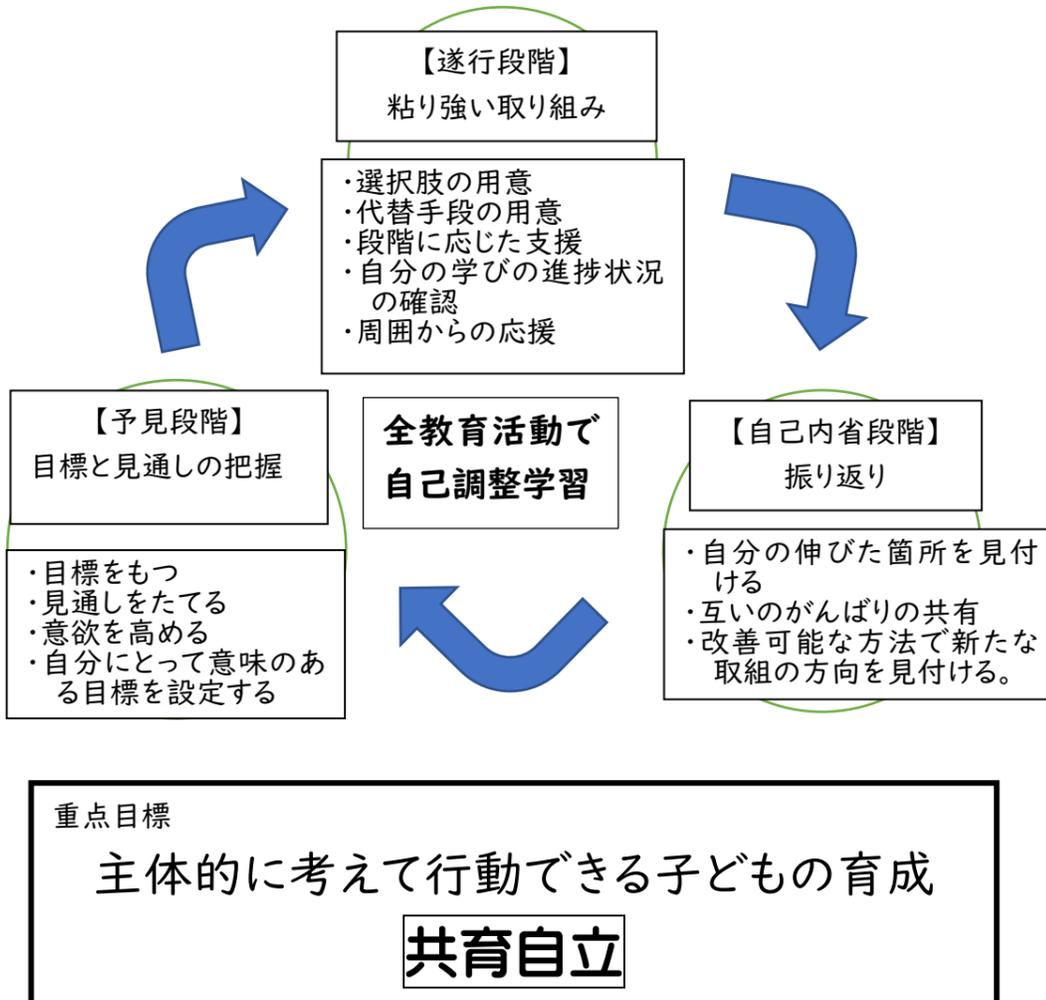
- ・南魚沼市教育委員会
- ・地域づくり協議会
- ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)
- ・地域学校協働本部
- ・おおまき小後援会
- ・おおまき小PTA
- ・老人会
- ・育成会 他

第2次南魚沼市教育基本計画
共に学び、共に創る「学びの郷 南魚沼」

- 1 安全・安心で、活気に満ちた学校づくり
- 2 意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
- 3 心身の健康を育む教育環境の充実
- 4 夢、未来、希望を育む教育の推進
- 5 インクルーシブ教育の推進と特別支援教育の充実
- 6 生きる力の基礎を培う幼児教育の充実

学校の教育課題

- 子どもは勉強が分かるというが、定着が十分になされていない。
- 素直な子どもであるが、見下すような発言や行動が見られる。
- 教師の指示通りに動く子は多いが、自信のない子が多い。



重点目標

主体的に考えて行動できる子どもの育成

共育自立

学習指導	生活指導	保健安全指導
①主体的な学習者を育てる授業の創造 ○見通しをもつための学習計画[ルーブリック] 教材研究が生命線 ○問いを引き出すための課題提示と振り返り 「読む力」向上に視点を置いた課題提示・展開・まとめの工夫 個別最適な学びの充実 ○粘り強く取り組ませる支援 イメージを文章化・図化・共有 ICT機器の活用	①全校体制での生活指導 ○生活目標における個人目標の設定と指導 ○生活朝会での振り返り発表 ○個人カードにおける子どもの評価の可視化	①運動意欲の向上 ○めあてや見通しをもって運動する子ども 学習カードとICT機器の活用 ○行動面や技能面で伸びを実感できる体育授業の創造 ○I学校I取組の推進
②基礎学力の定着を図る家庭学習 ○家庭学習のねらいと意義の指導 ○ドリル学習・予習・週末作文 授業・家庭でのドリルパークの活用 ○読書の充実 読書意欲向上のための指導の徹底 読書カードの活用(読書量の蓄積) ○視写・聴写	②安心して活動できる温かい集団で自己有用感、自己肯定感の向上 ○自己肯定感もてるような子どもへの意図的なかわり ○学級や校内で人の役に立つ活動の実施、振り返りと自覚 ○心の揺れに対する対応 いじめ・不登校の未然防止、即時対応(「心の天気」・WEBQUの活用)	②好ましい生活習慣の確立 →自己管理能力の向上、家庭との連携 ○睡眠時間の確保 学年に応じた就寝時刻、起床時刻を守る ○メディアとの接触時間の縮減 メディアコントロール教育 ○食育 栄養教諭との連携
③生活科および総合的な学習の時間の充実 ○問題意識と情報の整理・分析および協働的学びを大切に単元 ○地域コーディネーターとの連携 ○地域への発信 HP「学校日記」毎日更新	③道徳教育の充実 ○葛藤があり「考え、議論する道徳」の授業 ○人権教育の推進 ○異学年交流の充実	③自分の命は自分で守る ○安全な学校生活のための準備・指導 ○危機回避能力の育成 ○防災プログラムの確実な実施

信頼される学校づくり

- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール) 積極的な情報提供と意見交換、地域学校協働本部と連携した支援依頼
- 情報発信 HP「学校日記」の毎日更新、安心でんしょばとの活用

安心・安全で、活気に満ちた学校づくり

- リスクマネジメント 避難訓練、アレルギー対応、交通安全教室等
- 働き方改革 継続した学校運営の見直し、働き方改革意識の向上
- 電話対応 7:30~18:00、19:30 完全退勤、週1日 19:00 退勤日